

オーストラリアの人事攻略で成功する為には
その45

オーストラリアでは社員が日本のように上司のことを考えて仕事をするということがありえない中で、どのように会社の業績を上げていくかが課題かと考えられます。

基本的に社員は自分のやりたい仕事だけをいたしますのでマネジメントが作業の一部を社員に手伝ってもらうために社員とのコミュニケーションが非常に大切になってまいります。

マネジメントが社員を使いこなせないかぎり会社の業績を上げることはオーストラリアでは不可能であります。つまり社員をマネジメントがモチベート出来ない限り、社員はジョブスクリプション上の仕事を自ら進んで行うことがないからであります。

社員をモチベートするためには社員をマニピュレートする必要があります。社員を農場のお牛さんだと考えてみてください。農場主としてはお牛さんに沢山のミルクを出してもらいたいと考えられると思います。また、沢山の子牛を生んでもらいたいと思うでしょう。

そのために農場主はどうしたらよいのでしょうか。

ただ牛の乳を搾っただけではミルクは出てきません。牡牛と牝牛を同じ柵の中に入れておくだけでは沢山の子牛は生まれません。

お牛さんは沢山水分の入った草をお腹いっぱい食べたいでしょうし、その後は牧場で地面にお腹をつけてゆっくり休みたいのではないのでしょうか。

お牛さんは自分のしたいことをさせるためにその過程の中でミルクを沢山出してもらい、沢山の子牛を作ってもらいたくことがマニピュレートであります。

当然水分の多い牧草を食べれば乳が張るために農場主に早く乳を搾ってもらいたいと思うのではないのでしょうか。またたくさん休みを与えれば子牛を沢山作るようになるのではないのでしょうか。

また公平に牡牛と牝牛が混ざるように柵の中に入れておく必要があるでしょうし、沢山の子牛を生んでもらうためには牡牛より牝牛を増やす必要があるでしょう。

そして元気で若い牡牛を用意する必要もあるでしょう。

つまりこのようにマニピュレートするためにはお牛さんを社員として考えた場合、社員とコミュニケーションをとる必要があります。社員のことがわからない限りはコミュニケーションを取ることには難しいでしょう。そして社員とコミュニケーションを取るには社員のバックグラウンドを理解する必要があります。

日本でも以前より「飲みにけーしょん」としてマネジメントが多くの時間を割いてきたように、コミュニケーションの円滑化を図ってまいりました。

オーストラリアで人材を採用するにあたり確かにアジア人は白人よりも安く雇うことが出来ますが、その社員とコミュニケーションが取れない場合マニピュレーションは出来ません。

マニピュレーションが出来ない場合に会社の業績を上げることは不可能ではないのでしょうか。